

授業科目	ボランティア論【講義】		開講時期	後期
担当教員	上村 真仁		単位	2
授業の目的と概要	現代社会において「ボランティア」は、様々な領域で実施されており、社会問題の解決のためにはなくてはならない活動となっている。本講義では、ボランティアが生まれた社会的な背景を理解するとともに、ボランティア活動の特徴である「主体性」「公共性」「無償性（非営利性）」の理解、今日のボランティア活動の役割、課題の理解とボランティアマネジメントに関する現状の理解、および自分の住む地域や生活圏における身近なボランティア活動への気づきを主たる目的とする。			
到達目標	現代社会におけるボランティアの意義を説明することが出来る。 自分の価値観を明確に持ち、ボランティアに関するディスカッションを行なうことが出来る。 自己実現と社会貢献を両立するボランティア活動を構想することが出来る。 ボランティアの意義や社会的な役割について体験やグループでの議論を通じて自身の考えをまとめ授業で発表することが出来る。 身近なボランティア活動への理解が促進され、実際にボランティア活動へ参加する機会を得ることが出来る。			
この授業が目的としてしているDPや関連する科目など	(1) -④社会の一員としての意識をもってその発展に関わることができる。「市民としての社会的責任・勤労観」 (2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」 この科目は民間シンクタンクや環境NGOでの官公庁の政策立案や地域での実践に関する実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載通りの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	ボランティア論について 授業の進め方、身近なボランティアについて考えよう	ボランティアの経験、イメージをまとめて来てください。		
第2回	ボランティア活動の理解	ボランティアの特徴にはどのようなものがあるか調べてきてください。		
第3回	NPOとは何か？	復習として太宰府市内で活動するNPOについて調べてきてください。		
第4回	行政とNPOの協働	ボランティア活動における行政の役割について考えてきてください。		
第5回	ボランティアの現場を知る その1（まほろば自然学校の活動）	自分がやってみたいボランティア活動について考えてきて下さい。		
第6回	市民活動における中間支援について	ボランティア活発にするために必要な支援について考えてきてください。		
第7回	市民活動に関わるには	復習として自分がやってみたいボランティアを調べてください。		
第8回	ボランティアの現場を知る その2（太宰府天満宮門前6町まちづくりの活動）	自然環境保全ボランティアについて調べてきてください。		
第9回	ボランティア活動を企画してみよう グループワークによる企画づくり（例：ボランティアガイド）	太宰府・大学を活動場所とするボランティアを考えてきてください。		
第10回	ボランティア活動の準備 現場での調査、調整（例：資源マップづくり=門前町調査）	第9回で議論した内容を具体的な提案としてまとめてきて下さい。		
第11回	ボランティア活動計画の策定（例：マップづくり）	計画の具体化		
第12回	ボランティア活動の準備（例：ガイド方法の検討）	全体でのボランティア実施の準備を進めてください。		
第13回	ボランティアの実施 その1	グループで計画したボランティアを実施してください		
第14回	ボランティアの実施 その2	グループで計画したボランティアを実施してください		
第15回	ボランティア体験発表会とディスカッション	体験して、良かった点、悪かった点、自分自身の変化をまとめてください。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	なし			
小テスト等	30% 授業の中で、テキストからの出題による小テストを実施する。			
成果発表	合計40% グループでのボランティア企画書作成 20%、グループでのボランティア実施成果の発表 20%。			
受講態度他	30% ボランティア計画の策定、準備、実施などへの参加の状況により評価する。			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	本科目では、自分たちでボランティア活動を企画してもらい受講者全員で協力して実現する実践型の授業とします。その体験を踏まえてレポートの作成をしてもらいます。積極的にグループでのディスカッションに参加しグループのメンバーに迷惑をかけないようにして下さい。また、全体でのボランティアの実施についても積極的に参加するようにして下さい。ボランティアの企画・実施を行いますので2年生に加えて、就活準備をしている3年生の受講も歓迎いたします。			
教科書	なし			
指定図書	早瀬昇・水谷綾・永井美佳・岡村こず恵 他 「テキスト市民活動論」 大阪ボランティア協会 早瀬昇、筒井のり子 「ボランティアコーディネーション力」 中央法規			
参考図書	金子郁容「ボランティアもうひとつの情報社会」 岩波新書、 西條剛央 「人を助けるすごい仕組み」 ダイアモンド社			
オフィスアワー	月曜日 2限、3限、4限、水曜日 4限	メールアドレス		

授業科目	メディアと文化【講義】		開講時期	前期
担当教員	小山 昌宏		単 位	2
授業の目的と概要	1. メディアと文化に関する基礎知識を、映画、ドラマ、アニメ、音楽、新聞、電話、テレビなど具体例を通して身につける 2. メディアの基礎理論、インターネットの理論を踏まえ、メディアリテラシーを身につけ、メディアセキュリティの考え方を身につける 3. 具体例を検証することにより、メディア、マスコミュニケーションの基礎理論を活きた方法として活用ができる 4. 具体的には、毎回の講義時リアクションペーパー（質疑応答：出席表）による復習（振り返り）を活かし、学びを深め（思考力の獲得）、期末レポート作成に活かす			
到達目標	1. メディア一般、個別メディアの機能と社会的影響力について、説明することができる 2. 各メディアの諸問題点を発見し、それについて掘り下げ、考えることができ、その内容について報告ができる 3. メディアとインターネットとの関係について説明ができ、おこりうるメディア環境の変化について説明ができる 4. リアクションペーパー内容の振り返りにより、他者の意見を取り入れ、自分の知識を再形成することができる			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」 (2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」 この科目は出版関係企業で実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どりの実践的教育を行います。			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	メディアとは何か？ ～映画：F・ラング「メトロポリス」とチャップリン「モダン・タイムス」を題材に	予習として2作品いずれかを視聴しておく		
第2回	メディアの発展とその機能 ～メディアの進化と身体コミュニケーション	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第3回	地域文化とメディア ～能年玲奈の「あまちゃん」と地域振興	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第4回	電話と声 ～郷ひろみ「よろしく哀愁」からRADWIMPS「携帯電話」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第5回	新聞メディアとその役割 ～娯楽と報道の「間」に揺れるその未来	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第6回	放送メディアと文化 ～その「公共性」と社会的役割について	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第7回	視覚と映像 ～機械の目と人間の目が織りなす映像の基本ルール	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第8回	マスコミュニケーションと情報操作 ～「ナチス情報戦」「火星人襲来」から「ケネディ暗殺」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第9回	アニメ・バッシングとオーディエンス ～血・性・暴力表現はいかにしてアニメから排除されるか	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第10回	ミニコミと自己プロデュース ～「サブカルポップマガジンまぐま」20年の歩みから	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第11回	聖地巡礼とコンテンツ消費 ～「時かけ」「らき☆すた」から「炎の蜃気楼」「水木しげるロード」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第12回	コンテンツビジネス論 ～アニメコンテンツとクロスメディア 「ポケモン」と「妖怪ウォッチ」の差とは？	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第13回	メディア・リテラシーとセキュリティ ～テレビCM、ネット広告の罠とリテラシー	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第14回	情報メディアの編集と生成 ～学際的メディア編集とは何か？	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第15回	編集の実際 ～4コママンガの制作（用意された画像を編集して物語をつくらう）	期末レポートテーマを確定する。		
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	70％（期末レポート） 30％（出席シート：リアクションペーパーの内容）			
小テスト等	なし			
成果発表	なし			
受講態度他	第1回目の授業時に受講の心得についてお話しします			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	1. 教科書はありません レジュメ（配布資料）は各回配布いたします 2. この授業では、毎回、リアクションペーパー内容をまとめ、要点整理の上、次回授業のはじめに振り返り紹介いたします（復習） 3. リアクションペーパーと振り返りによる学習効果を、期末レポート作成に活かします 4. すべての資料は筑女ネットにアップします			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	授業内で指示する			
オフィスアワー	水曜日昼休み（12:20～13:00）	メールアドレス		

授業科目	人権教育【講義】		開講時期	後期
担当教員	栗山 俊之		単 位	2
授業の目的と概要	<p>人権の大切さを理解し、人権に関わる具体的な問題について、論理的に、様々な教材を用いながら授業することができるようになることを目指します。また、そのためのよりよい授業の組み立て方や、教材収集の方法を身に付けてください。なお、部落差別、水俣病、ハンセン病、在日コリアンなどをテーマとして講義を行います。また、時事により、新たな人権問題を組み入れることがあります。</p> <p>講義を通してボランティアや現地研修を自ら行い、現代社会が抱える諸問題について理解し、その解決方法を模索することができますようになってください。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが受けた人権教育を整理し、検証できる。</li> <li>2. 人権に関する現代的問題に関心をもつ。</li> <li>3. 人権に関する授業を組み立てることができる。</li> </ol>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」  (1) -④社会の一員としての意識をもってその発展に関わることができる。「市民としての社会的責任・勤労観」  (2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」  総合講座（人権・平和）、マイノリティを生きる、ボランティア論などを関連科目として挙げるすることができます。  また、教職の科目でもあるので、教職関係の科目も関連科目となります。</p> <p>この科目は仏教福祉活動・高校教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 など		
第1回 講義の進め方		高校までに学習した人権に関する事柄を復習しておく		
第2回 人権とは何か		配布する人権に関するプリントを読む		
第3回 人権についての講義（人権を損なうもの）		配布する差別に関するプリントを読む		
第4回 人権にかかわる基本的学習（人権の歴史）		配布する人権の歴史に関するプリントを読む		
第5回 人権にかかわる基本的学習（人権思想）		配布する思想に関するプリントを読む		
第6回 人権にかかわる基本的学習（人権関係法・条約）		配布する人権関係法・条約に関するプリントを読む		
第7回 人権にかかわる諸問題（部落差別）		配布する部落差別に関するプリントを読む		
第8回 人権にかかわる諸問題（外国人差別）		配布する外国人差別に関するプリントを読む		
第9回 人権にかかわる諸問題（ハンセン病）		配布するハンセン病に関するプリントを読む		
第10回 人権にかかわる諸問題（水俣病）		配布する水俣病に関するプリントを読む		
第11回 人権にかかわる諸問題（子どもの人権）		配布する子どもの人権に関するプリントを読む		
第12回 人権にかかわる諸問題（障害者差別）		配布する障害者差別に関するプリントを読む		
第13回 人権にかかわる諸問題（戦争）		配布する戦争に関するプリントを読む		
第14回 人権にかかわる諸問題（DV）		配布するDVに関するプリントを読む		
第15回 まとめ		もう一度、人権教育の意義について考察する		
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	50％ レポート試験			
レポート	40％ 講義終了前10分前に小レポートを課します			
小テスト等	0％			
成果発表	0％			
受講態度他	10％ 講義に向き合う姿勢			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>毎回、講義終了10分前に「講義の感想・意見」を書いて提出してください。  自らが教える場合はどうするかということを常に意識しながら講義に向き合ってください。  教職関連科目です。教員を目指す学生に照準を合わせて講義を進めますので、真摯に取り組んでください。</p>			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	適宜紹介します			
オフィスアワー	火4、金3	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法A I【講義】	開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵	単位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらいいのかを考えます。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。</p> <p>授業は、原則教科書に沿い、進めます。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教師としての技能を身につける最初の段階として、基礎的な知識を学び、日本語教育の全体像を知ること。</li> <li>・主にはどのような学習者があり、どのように日本語を学んでいるかについての知識を教材分析等を通し、知見を深めます。</li> </ul>		
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。  (4) -①-① これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」  この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>		
授業計画	授業内容	授業外学修など	
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第2回	言語としての日本語	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第3回	日本語の音声（1）基本的な日本語の音声概観	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第4回	日本語の音声（2）学習者に対する発音指導	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第5回	「日本語学校の仕事」※ずれる可能性あり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第6回	日本語の文法（1）日本語のレベルと文法の関係他	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第7回	日本語の文法（2）日本語文法をどう学習者に提示するか	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第8回	文字・表記	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第9回	語彙	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第10回	社会言語学（1）ことばの使い分けとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第11回	社会言語学（2）文法外のコミュニケーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第12回	心理学（1）学習（learning）とは？	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第13回	心理学（2）心理学と日本語教育の関わり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第14回	第二言語習得（1）第二言語を学ぶプロセスとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第15回	まとめ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など		
定期試験	20%		
レポート	40% 詳細は最初の授業で指示します。		
小テスト等	20% 詳細は最初の授業で指示します。		
成果発表	なし		
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加		
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。		
教科書	『新・はじめての日本語教育1』高見澤孟他（アスク）		
指定図書	なし		
参考図書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）		
オフィスアワー	火曜 2講時	メールアドレス	

授業科目	日本語教育法AⅡ【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なか、どのように教えたらよいかを考えます。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点を置きます。</p> <p>授業は、原則教科書に沿い、進めます。適宜、ワークショップ形式の演習を行い、体験を通した学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教師としての技能を身につける最初の段階として、基礎的な知識を学び、日本語教育の全体像を知ること。</li> <li>・主には各レベルの学習者にどのように授業を行うのかを知ること。</li> <li>・本授業は、学んだことを実際にやってみる「日本語教育演習Ⅰ・Ⅱ」への前段階としての位置づけがあります。</li> </ul>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。</p> <p>(4) -①-これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	日本語教師の役割	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	日本語を教えるということ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	初級の教え方（1）発音	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	初級の教え方（2）会話	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	初級の教え方（3）文字	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	初級の教え方（4）読解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	中上級の教え方（1）会話	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	中上級の教え方（2）聴解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	中上級の教え方（3）読解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	中上級の教え方（4）情報収集	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	中上級の教え方（5）その他のクラス指導	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	評価と試験	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	いろいろな外国語教授法	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	ふりかえり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	20% 詳細は最初の授業で指示します。			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
成果発表	なし			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『新・はじめての日本語教育2』高見澤孟他（アスク）			
指定図書	なし			
参考図書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）			
オフィスアワー	木曜 1講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法B I 【講義】		開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいのかを知り、できるようになることを目指します。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点を置きます。</p> <p>授業は、原則、ワークショップ形式で行い、体験を通じた学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<p>・日本語教師としての実務をひと通り学び、初級から上級までの学習者を対象とした授業ができるようになることを目標とします。</p>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。  (4) -①-これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」  この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 など		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	いろいろなシラバス	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	第二言語の習得の様相	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	初級の授業の全体像	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	初級の授業 導入(1)学習者に気づきを与える導入とは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	初級の授業 導入(2)導入のバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	初級の授業 基本練習(1)流暢さと自動化を促すパターンプラクティスとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	初級の授業 基本練習(2)パターンプラクティスのバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	初級の授業 応用練習(1)「自分のことば」で話すための活動とは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	初級の授業 応用練習(2)応用練習のバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	初級の授業 応用練習(3)応用練習の留意点	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	初級の教材分析(1)文型シラバスの教材	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	初級の教材分析(2)文型シラバス以外の教材	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	授業案検討	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	まとめ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割 合 ( % ) 、 種 類 ・ 評 価 基 準 等			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 詳細は最初の授業で指示します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『みんなの日本語 初級 I 本冊 ※第2版』(スリーエーネットワーク) ※第1版ではありません			
指定図書	適宜、提示します。			
参考図書	『初級を教える人のための文法ハンドブック』白川博之監修(スリーエーネットワーク) 『初級日本語文法と教え方のポイント』市川保子(スリーエーネットワーク)			
オフィスアワー	月曜 3講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法BⅡ【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実践的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいかを知り、できるようになることを目指します。授業は、国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。</p> <p>授業は、原則教科書に沿い、進めます。適宜、ワークショップ形式の演習を行い、体験を通じた学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教師としての実務をひと通り学び、中級の学習者を対象とした授業ができるようになることを目標とします。</li> <li>・教案の書き方や教具の作成ができるようになることを目指します。</li> </ul>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。</p> <p>(4) -①-これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	中級の授業の体験	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	中級の授業の構成	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	教材分析（1）分析の観点の整理	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	教材分析（2）発表	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	効果的な教材の利用	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	教具作成	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	クラスコントロール	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	模擬授業（1）第2課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	模擬授業（2）第3課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	模擬授業（3）第4課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	模擬授業（4）第5課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	模擬授業（5）第7課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	模擬授業（6）第8課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	模擬授業（7）第9課	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 教案や教具について発表し評価します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『中級へ行こう』（スリーエーネットワーク）			
指定図書	なし			
参考図書	『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』白川博之監修（スリーエーネットワーク） 『中級日本語文法と教え方のポイント』市川保子（スリーエーネットワーク）			
オフィスアワー	月曜 5講時	メールアドレス		